

肺胞マクロファージ免疫に着目した肺炎球菌の病原性の解明

1. 研究の対象

2010年4月1日～2019年3月31日の間に当院に通院または入院し、喀痰・胸水・血液・髄液・尿の培養検体から肺炎球菌が検出された患者を対象とする。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、下記の(1)(2)の仮説が正しいか否かを明らかにすることである。

(1) 肺炎球菌株の分離検体・血清型が肺胞マクロファージNF- κ B活性を規定する。

① 侵襲性感染症から分離された株はNF- κ B活性が低い。

② NF- κ B活性が低い特定の血清型が存在する。

(2) 肺胞マクロファージNF- κ B活性が低い（肺胞マクロファージNF- κ Bによる免疫を回避する）肺炎球菌株による肺炎は重症化する。

研究の意義：肺炎球菌自体がもつ肺胞マクロファージ免疫賦活化因子が肺炎の重症化に密接な関係をもつことが明らかとなれば、将来的にそれに焦点をあてた治療の開発につながり、肺炎球菌感染症の重症化を解決する糸口となり得る。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

●情報：

- ・患者背景：年齢、性別、診断名、主訴、合併症、肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチン接種歴、全身性炎症反応症候群（SIRS）の有無、肺炎重症度、入院期間、ICU入室期間、人工呼吸器使用期間、播種性血管内凝固症候群（DIC）の有無
- ・バイタルサイン・診察所見：ショックの有無、体温、SpO₂（測定時のFiO₂を含む）、呼吸数、脱水の有無、精神状態の変化
- ・血液学的検査：白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板
- ・血液生化学検査：CRP、プロカルシトニン、血清アルブミン、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、ビリルビン、血糖、血液ガス（採取時のFiO₂を含む）、
- ・画像検査所見：胸部X線、胸部CT、髄膜炎の場合は頭部CTおよび頭部MRI
- ・培養検査：血液培養、喀痰培養、尿培養、胸水培養
- ・微生物学的検査：肺炎球菌尿中抗原および喀痰抗原
- ・治療内容：初期に選択された抗菌薬、変更後の抗菌薬、循環作動薬の有無
- ・予後：7日目、30日目の生存率 等

●試料：肺炎球菌株

4. 外部への試料・情報の提供

本研究に係る試料、情報等を取り扱う際には研究対象者の個人情報とは関係のない番号（識別コード）を付けて管理する。また、研究対象者と識別コードが連結できるよう対応表を作成する（連結可能匿名化）。

作成した対応表を院外へ持ち出す事はしない。

5. 研究組織

【研究責任者】

長崎大学病院 呼吸器内科 助教 山本和子

【研究分担者】

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 呼吸器内科学 教授 迎 寛

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 呼吸器内科学 大学院生 井手口周平

長崎大学大学院 呼吸器内科 講師 今村圭文

長崎大学大学院 呼吸器内科 助教 西條知見

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野 助教 高園貴弘

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学 大学院生 太田賢治

長崎大学病院 検査部 助教 小佐井康介

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学 教授 柳原克紀

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学 賀来敬仁

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 先進予防医学講座 リウマチ膠原病内科学 大学院生 伊藤裕也

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野 教授 泉川公一

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野 講師 宮崎泰可

佐世保市総合医療センター 部長 福田雄一

産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺和博

産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 講師 川波敏則

大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座 教授 門田淳一

大分大学 医学部 結核医療体制強化事業 准教授 小宮幸作

済生会熊本病院呼吸器センター 呼吸器内科 一門和哉

熊本中央病院 呼吸器科 田代貴大

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本市南区近見 5-3-1

済生会熊本病院 呼吸器内科

研究責任者：呼吸器内科部長 一門 和哉

TEL:096-351-8000 (代)

研究代表者：長崎大学病院 呼吸器内科 助教 山本和子

以上